

第210回AC・Net例会のご案内

Date/日時 平成27年**10月9日(金)** **14:00~16:40** (開場13:30)

Place/会場 大阪大学 中之島センター「講義室301」

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

Language/使用言語 日本語

プログラム

- ◆14:00~15:10 「産総研人工知能研究センターのめざすところ」
辻井 潤一 氏
国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター
センター長
 - ◆15:10~15:20 休憩
 - ◆15:20~16:30 「IoT/M2Mの可能性と現状の限界」
猿渡 俊介 氏
静岡大学 情報学部/大学院情報学領域 講師
国立研究開発法人産業総合技術研究所 計測標準研究部門 客員研究員
 - ◆16:30~16:40 閉会の挨拶
-

[第211回例会予告]

- 開催時期：平成28年1月~3月
- 講演者：菅沼 直樹氏 金沢大学 準教授 (講演テーマ：自動運転)
- 講演者：岡田 美智男氏 豊橋技術大学 教授 (講演テーマ：ヒューマンインタラクション)

詳細が決まりましたら会員の皆様にはメールにてご案内致します。
今後とも何卒よろしくお願い致します。

人工知能研究センターの研究構想について 産総研人工知能研究センターのめざすところ

Date/日時 平成27年**10月9日（金）** 14:00~15:10

Place/会場 大阪大学 中之島センター「講義室301」

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

Language/使用言語 日本語

Speaker/講演者

辻井 潤一 氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター センター長

Abstract/概要

現在、人工知能は第3次のブームを迎えたといわれる。実際、コンピュータ将棋、車の自動運転、東大入試ロボット、IBMのワトソンと、人工知能を取り巻く話題が世間を騒がせ、人工知能への期待が高まっている。その一方で、キラーロボットや人間知能を超える超知能体といった、人間社会を脅かすものとしての人工知能への恐れや警戒も広がっている。

本講演では、脳型人工知能とデータ知識融合型人工知能という、今回設立された人工知能センター（AIRC）の目指す研究方向を議論する。また、我々の目指す研究方向が、人工知能研究の2つの流れを統合し、人間知能との親和性が高い人工知能の実現につながることで、また、このことが人工知能への警戒感をとり除くことに寄与することを議論する。

Biography/経歴

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター センター長

1971年 京都大学大学院修士課程修了後、同大学助手、助教授を経て、1988年より英国マンチェスター大学(UMIST)教授、1995年より東京大学教授。

2011年に東京大学を退職、マイクロソフト研究所首席研究員。2015年5月より現職。

フランスCNRS招聘上級研究員(1981年)、マンチェスター大学教授を併任（2005年-2011年）。

情報処理学会論文賞を3度受賞した他、日本IBM科学賞（1988年）、IBM Faculty

Award(2005年)、人口知能学会業績賞（2008年）等、また2010年には紫綬褒章受賞。